



平成 29 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズホールディングス
代表者名 代表取締役社長 洲崎 智広
(コード番号 3726 東証二部)
問合せ先 経営企画室長 山戸 明仁
(TEL. 092-720-5460)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 11 日に公表しました平成 29 年 9 月期の業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 9 月期 通期連結業績予想と実績の差異（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	4,100	165	160	100	14.56
実績値 (B)	2,668	111	161	200	29.21
増減額 (B - A)	△1,432	△54	1	100	—
増減率 (%)	△34.9%	△32.7%	0.6%	100%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 9 月期)	4,311	277	260	122	17.82

2. 差異の理由

当社は、平成 29 年 6 月 30 日に公表しておりますとおり、第 3 四半期連結会計期間におきまして、当社の連結子会社でカラーコンタクトレンズ事業を展開しておりましたクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、第 3 四半期連結会計期間期首をみなし売却日として連結の範囲から除外したことにより、前回発表の業績予想と差異が生じました。なお、当該事象により前回公表の業績予想との乖離が生じておりましたが、他の要因を踏まえ慎重に精査する必要があったことから、通期業績予想の修正は行っておりませんでした。

その他の要因につきましては、売上高につきましては、連結子会社である株式会社フェヴリナにおいて、新規顧客の獲得に苦戦したこと、同じく株式会社 Cure において、当連結会計年度中に行う予定だった新商品の販売時期が遅れていること等の理由により、前回発表の業績予想を下回る結果となりました。

利益面におきましては、営業利益について、売上高が予想を下回ったことに加え、前回発表の業績予想よりも新商品の販売に向けたマーケティング費用が増加したこと、新規顧客獲得のための積極的な宣伝広告を行ったことで、前回発表の業績予想を下回る結果となりました。

経常利益に関しましては、前連結会計年度において計上しておりました貸倒引当金につきまして、対象の債権が回収されたことに伴い、貸倒引当金戻入額 64 百万円を計上したことにより、ほぼ前回発表の業績予想となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、上記に記載しましたクレイトン・ダイナミクスの株式を売却したことに伴い、子会社株式売却益 108 百万円を計上したこと等により、前回発表の業績予想を大幅に上回る結果となりました。

以 上